



『東北圏だより』

青森県総合流通プラットフォーム「A!Premium」 —地方からの物流改革！—

青森県

青森県では、ヤマト運輸株式会社と連携し、スピード輸送と保冷一貫輸送の機能を備えた全国初の輸送サービス「A!Premium」を提供しています（平成27年4月27日からサービス開始）。

このサービスにより、東北地域に限られていた翌日午前配達エリアが、本州及び四国の全域と福岡県まで拡大したほか（人口カバー率：7.5%から84.7%へ増加）、沖縄国際物流ハブの活用により、香港、台湾等へも翌日中の配達が可能となりました。

Local to Local, Local to Asia を実現し、生産者と国内外の消費者をシームレスに繋ぐ流通イノベーションとして、輸送サービスの活用による流通拡大を進めていきます。



▲第一便出発式(平成27年4月27日)



▲福岡市内で販売される活ホタテ

【取組の背景】

青森県は豊かな自然に恵まれ、また太平洋、日本海、津軽海峡の三方海に面しているため、水産物、農産物、畜産物などバランスの取れた多様な産品を有しています。

一方、本州最北端に位置していることから、首都圏や関西圏といった大消費市場に対し、時間や距離、物流コストといった流通上の課題を抱えていました。

これを克服し、県産品の流通拡大を物流面で支援することを目的に、ヤマト運輸株式会社と連携協定を締結（平成26年7月24日）、輸送時間の短縮と鮮度・品質を保持した付加価値の高い物流の仕組み「青森県総合流通プラットフォーム」を構築し、「A!Premium」輸送サービスを提供しています。

【A!Premium への期待】

「A!Premium」では、鮮度維持が不可欠である鮮魚や青果物等の国内外への流通拡大や、小ロットからの取引創出を目指しています。

最終的には、品質（鮮度）保持による商材価格や直接取引による卸価格の向上により、農林水産業従事者の所得向上が図られるよう、地方からの物流改革モデルをめざし、サービスを進化させていきたいと考えています。

青森県総合流通プラットフォームホームページ <http://www.a-pre.jp/>

新たに東北観光親善大使に「株式会社劇団ニホンジンプロジェクト」を任命

東北運輸局

東北運輸局と東北観光推進機構では東北の自然、歴史、文化等を広く国内外に紹介することにより、東北における観光振興を効果的に推進するため、平成23年1月に「東北観光親善大使」を設置しています。

初代東北観光親善大使として、平成23年2月2日に「MONKEY MAJIK」を任命しています。

彼らはカナダ人兄弟2人と、日本人2人の4人組ユニットで、仙台市を拠点に活動している人気バンドです。当時、東北の観光需要の低い西日本で MONKEY MAJIK の人気が高く、ファンをはじめ幅広い層に東北の豊かな観光資源をPRしていただくことで誘客を図れること、また、カナダを母国とするメンバーがおり、今後の展開ではビジットジャパン事業の重点市場国のカナダからも誘客が期待できます。

任期は基本2年ですが、今後も東北観光親善大使として活動していただける旨、承知していただき、平成25年及び平成27年にそれぞれ再任命しています。



▲MONKEY MAJIK



▲Rake

2代目の東北観光親善大使は平成26年1月15日に、仙台市出身のシンガーソングライターの「Rake」を任命しています。

東日本大震災の際には自ら被災した経験があるため、より一層の東北の認知度を向上させ、震災復興に寄与することを目的に活動しており、ビジットジャパン事業では重点市場国である台湾において、映画「KANO」の主題歌に起用され、今後の展開次第で台湾からの誘客に期待できます。

3代目の東北観光親善大使には「東北楽天ゴールデンイーグルス」を平成26年7月11日に任命しています。

東北楽天ゴールデンイーグルスは、東日本大震災で落ち込んでいる東北観光の回復・拡大と震災からの復興促進を期待し、スポーツを通じて東北に感動と勇気を与え続けています。

ここでは、観光庁の観光復興事業で実施された「復興商店街でつなぐ旅スタンプラリー」で球場内にスタンプ押印箇所を設置し、楽天イーグルス賞として賞品の提供に協力し、また、Rake とのコラボレーションを実施しています。



▲東北楽天ゴールデンイーグルス

4代目の東北観光親善大使は本年7月7日に「株式会社劇団ニホンジンプロジェクト」を任命しています。

ニホンジンプロジェクトは、ライブや各種イベントにおける東北のPR、You Tube 番組「今日の株式会社劇団ニホンジンプロジェクト」で東北各県の紹介など動画発信していただいています。

今後もそれぞれの「東北観光親善大使」には東北の元氣と魅力など国内外に発信していただくよう、積極的な活動を期待しています。



▲株式会社劇団ニホンジンプロジェクト

観光庁では、地方の伝統文化や自然環境の魅力等を海外にアピールし、訪日を強く動機づける「広域観光周遊ルート」の形成を促進し、多くの訪日外国人旅行者を呼び込むために、本年6月12日、7つの「広域観光周遊ルート」を認定しました。

その一つに東北の四季や歴史文化、食を楽しむ「日本の奥の院・東北探訪ルート」が選定されています。

昨年の訪日外国人旅行者数は、2003年のビジットジャパン事業開始以来過去最高の1,341万人となり、また、今年の1～6月までの上半期においては前年同期比46%増の914万人で、これまで過去最高だった昨年上半期の626万人を288万人余り上回り、2020年の2,000万人、2030年の3,000万人時代に向け、大きな弾みとなっています。

一方で、東北に目を向けると昨年の宿泊者数は回復の兆しはあるものの、震災前に比べ観光目的での延べ宿泊者数では84%、同様に外国人では56%とまだまだ厳しい状況となっています。

認定された「日本の奥の院・東北探訪ルート」を追い風として、今後の東北の認知度向上並びに誘客促進に向け、受入環境等の整備や海外への情報発信等を支援していくとともに、海外から多くの観光客がここ東北へ来ていただけるものと確信しています。



日本の奥の院・東北探訪ルート ～広域観光周遊ルート形成計画～

○広域観光周遊ルートとして、東北では「日本の奥の院・東北探訪ルート」を認定。(全国で7ルート)
○一連の魅力ある観光地域をネットワーク化し、東北を海外へ積極的に発信。

名称・コンセプト

- ・名称 『日本の奥の院・東北探訪ルート』 “Exploration to the Deep North of Japan”
- ・副題 『もう一つの日本・東北山の彼方の美しい四季と歴史文化、食文化を探訪するルート』
- ・コンセプト 色彩あざやかな四季を奏で、多くの詩人を魅了してきた美しい自然と風土が育んだ歴史文化と食を探訪する旅
- ・主な対象市場・ターゲット 台湾、香港、中国(上海・広州)、ASEAN、欧米、オーストラリア

申請者(事業実施体制)

- ・申請者 東北観光推進機構
- ・事務局 東北観光推進機構
- ・構成員 東北6県、新潟県、仙台市 他

第28回 東北圏広域地方計画協議会検討会議 幹事会の開催報告

東北圏広域地方計画推進室

去る7月16日(木)に第28回東北圏広域地方計画協議会検討会議幹事会が開催されました。今回の幹事会では、最初に東北圏広域地方計画の改定に関するこれまでの進捗状況と今後の進め方について説明を行い、続いて、東北圏広域地方計画改定中間整理素案及び広域連携プロジェクト骨子素案についての説明を行い、各構成機関より了解が得られました。最後に、東北ブロックにおける社会資本整備の具体的な方針を示す社会資本整備重点計画について説明を行いました。

今後も、各構成機関の皆様には新たな東北圏広域地方計画の策定に向けて、様々な依頼をお願いすることになるかと思いますが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



▲幹事会の様子

7月1日付けで全国の各運輸局の企画観光部と交通環境部を再編し、地域交通の活性化と観光立国の実現に向けて「交通政策部」と「観光部」が設置されました。これに伴う異動で、前任者の伊藤（現東北運輸局観光部次長）の後任として、東北圏広域地方計画推進室の副室長を拝命いたしました島田です。微力ではございますが、皆様方のお力をお借りし東北地域づくりに取り組みたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

紙面をお借りして若干PRさせていただきますと、「交通政策部」は、人口減少、少子高齢化が急速に進むなか、地域の足を守り活力ある地域を実現するため、交通政策基本法の着実な実施の推進、地域公共交通網の再構築等、社会経済の変化に対応した地域物流の課題解決に取り組み、「観光部」は、東北の観光地をより魅力あるものとする取組みを支援し、観光による震災復興と地域活性化、2千万人の訪日外国人を受け入れるための環境整備の促進、広域観光周遊ルートの形成・発信、観光旅行消費の一層の拡大に向けた免税店の増加と観光関連産業の拡大等に取り組みます。

皆様方と連携して参りますので、ご支援ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

編集後記

今年も全国各地で連日猛暑日を記録するなど、暑い夏となっております。

”あつい”夏と言えば、東北各地で開催されている夏祭りも、訪れた多くの人々の熱気で賑わいを見せております。

ちなみに個人的な話して恐縮ですが、私の地元のふるさと夏祭りが8月15日（土）に開催されます。

今年のふるさと夏祭りは、震災で亡くなられた方々の供養のための流灯や法要、さらに山車と踊りのミニパレード、花火の打ち上げ等が行われます。震災前の規模とまではいかないかもしれませんが、徐々に活気を取り戻す地元の夏祭りに足を運びたいと思っております。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp